

「ふくしま企業脱炭素化支援体制構築事業業務委託」
公募型プロポーザルに係る質問書に対する回答

No.	受付日	質問事項	内 容	回 答
1	R6. 3. 15	(1) 支援体制構築 検討会等の運営	準備会の開催方法は、対面、オンラインの指定はございますでしょうか。また、対面の場合の会場費を受託者が負担する必要はございますでしょうか。準備会の出席者に対する謝金を受託者が負担する必要はございますでしょうか。	準備会は対面、オンライン併用での開催を想定しています。開催に当たっては、受託者が福島市内において 20 名規模の収容が可能な会場を確保するとともに、会場費を負担してください。 また、準備会及びコンソーシアム構成団体に対する謝金は、県側での負担を想定していますので、受託者が負担する必要はありません。ただし、受託者の企画提案により講師等を招聘する場合には、旅費及び謝金は受託者で負担してください。
2	R6. 3. 15	(1) 支援体制構築 検討会等の運営	設立総会では、特別講演の講師に対する旅費、謝金を受託者が負担する必要はございますでしょうか。また、謝金単価については県で指定の額がございますでしょうか。	特別講演等の講師に対する旅費及び謝金は受託者で負担してください。 なお、謝金単価は県指定の額はありませんので、受託者と講師との調整により額を確定してください。
3	R6. 3. 15	(3) サプライチェーン排出量「見える化」モデルの構築	モデル企業群の募集・選定プロセスについて受託者が助言・支援させていただくことは可能でしょうか。	可能です。

4	R6. 3. 15	(4) 脱炭素経営に関する普及啓発・人材育成の実施	「企業向けの研修と金融機関、経済団体等向けの研修は、それぞれ1回以上開催する」とありますが、ここでいう「企業向けの研修」とは個別企業に対する研修を指しますでしょうか。	仕様書(案)3ページの4(4)に記載のとおり、より多くの関係者が集まる機会を捉えて開催することを想定しておりますが、個別企業に対する研修を排除している訳ではありませんので、より効果的な手法を提案してください。
5	R6. 3. 15	仕様書(案) P3 4(5) 脱炭素ソリューション及び模倣可能な取組事例等の紹介	「オンライン形式での情報発信」の具体的なイメージについてご教示ください。	募集要領5ページの8(4)オに記載のとおり、「実施する情報発信のねらい及び具体的内容」として効果的な手法を提案してください。
6	R6. 3. 15	募集要領 P4 8(3)エ 提出方法等	「企画提案書は副本6部」と記載がありますが、この副本には、8(3)アに記載の(イ)～(ク)は含まないという認識でよいでしょうか。 つまり、提出書類は8(3)ア(ア)企画提案書 正本1部+副本6部、 8(3)ア(イ)～(ク)を各正本1部 という認識でよいでしょうか。 さらに、「8(3)ア(ア)企画提案書」の副本は、正本と同一の内容という理解でよろしいでしょうか。	いずれも、お考えのとおりです。

7	R6.3.15	募集要領 P6 9 (2) 審査委員会	プレゼンテーションを実施する際に、プロジェクターやスクリーンは貴県にてご用意いただけますでしょうか。 またプロジェクターとの PC 接続端子の形式 (HDMI、VGA 等) についてご教示ください。	県側でTVモニターを準備する予定です。PC接続端子はHDMI形式になります。 なお、モニターを使用せず、紙ベースでのプレゼンテーションも可能です。
8	R6.3.15	第2号様式 参加申込書	署名欄に社印等の押印は不要でしょうか。 ※ 一方で「第6号様式 誓約書」の署名欄では「印」と記載があるため、押印は必要と認識しています。	お考えのとおり、印の記載がある書類について押印をお願いします。それ以外の書類は押印不要です。
9	R6.3.15	第5号様式 担当者経歴書	記載にあたっては、主たる担当者1名分を作成すればよいという理解でよろしいでしょうか。	お考えのとおりです。